

栄養プロフィール

ニウエ

2019年12月20日更新

栄養分野国家政策/計画（その1）

栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
Niue Food and Nutrition Security Policy 2015- 2019	食料・栄養安全保障政策	<p>ニウエでは初の食料・栄養安全保障政策となる。主な目的は、すべての国民がいつでも十分に安全な栄養価のある食料が手頃な価格で入手可能であることを保障することにあるとしている。そのため下記を優先事項として掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現地食料の持続可能な生産、加工、販売、消費 2. 国民の健康と幸福 3. 自然資源の管理と使用 4. 学習やリサーチ、開発のための食料保障情報システム 5. 伝統的な食料生産の慣行と生物多様性の保存 6. リーダーシップ、ガバナンス、コーディネーション
Niue National Strategic Plan 2016- 2026	国家戦略	<p>ニウエの文化や歴史的価値、環境を守りつつ、社会的、経済的ニーズを満たす持続可能な繁栄をミッションとしている。人々と環境を保護するために共に働くこととし、下記事項を国家開発の柱としている。社会サービスの中でヘルスケアと質の高い保健サービスが健康なライフスタイル選択のために必要であるとしている。また食料と栄養の保障は健康のために必須であり重要な役割を持つとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 金融と経済発展（十分な資金の確保、開発戦略を支援する持続可能な資金管理） • ガバナンス（社会のあらゆるレベルでの良い統治） • インフラストラクチャ（対候性と回復性を備え、持続可能な使用と管理） • 社会サービス（幅広い質の高い社会サービスにアクセスできる、調和のとれた健康的なライフスタイル） • 環境と気候変動（現存また次世代のための自然資源と環境の持続可能な使用と管理） • タオガニウエ（ニウエの文化、歴史、言語、価値、アイデンティティの促進、強化、統合） • 民間セクター（繁栄し、起業家である民間部門に支えられた、豊かで熟練した島国）

栄養分野国家政策/計画（その2）

栄養関連政策・制度・規制

タイトル	位置付け	要旨
Niue Agriculture Sector Plan 2015-2019	農業セクター戦略	<p>2009年の国勢調査では466世帯の内87%の404世帯が農家であった。食料と所得の安定を維持するために農業に依存している人口の割合が高いと言える。基本的な食用作物は、タロイモ、バナナ、キャッサバであり、たんぱく質の主な供給源は、自給自足および小規模な家禽、養豚、半商業漁業である。</p> <p>バランスの取れた環境を維持し、ニウエのすべての世帯が食料、栄養、収入を確保できるようにすることを目標とし、下記事項の実施を掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての国民に対する食料と栄養の安全の向上 2. 持続可能な食料生産と管理システムの開発と推進 3. 持続可能な経済成長の支援、輸出入バランスの向上 4. 天然資源管理の強化 5. 関係者と農家の能力向上
DRAFT Food Safety Regulations include standard for iodized salt	食料安全規制	食品法に基づく規制。ヨード塩についての規制はドラフト段階とされている。

基本データ：一般概況

一般概況

指標	数値	項目	概要
人口	約1,520人 (2018年、太平洋共同体事務局)	面積 ¹⁾	259km ² (鹿児島県徳之島とほぼ同じ)
人口密度	6人/km ² (2018年、太平洋共同体事務局)	気候 ²⁾	高温多湿の熱帯海洋性気候。11～3月までは雨季で蒸し暑いが、そのほかの時期は過ごしやすい。雨季はサイクロンシーズンで、暴風雨に見舞われることがある。
人口増加率	-1.2% (2018年、太平洋共同体事務局)	地形 ²⁾	世界最大級のサンゴ礁が隆起した島で、周囲は高さ約60mの断崖に縁どられている。山岳や湖などは存在しない。
合計特殊出生率	2.8 (2007-2011年、大洋州共同体事務局)	民族構成 ¹⁾	ニウエ人 (ポリネシア系) 90%
平均寿命	男性70.1歳、女性76.3歳 (2007-2011年、大洋州共同体事務局)	言語 ¹⁾	ニウエ語 (ポリネシア語系)、英語
5歳未満児死亡率	21対出生1,000 (2018年、UNICEF)	宗教 ¹⁾	キリスト教90%
1歳未満死亡率	18対出生1,000 (2018年、UNICEF)	一人当たりGDP	15,586米ドル (2016年、太平洋共同体事務局)
Human Capital Index	No Data	主要産業 ^{1) 2)}	農業、漁業、観光業 国家収入や経済はニュージーランドに頼るところが大きい。
Doing Business ランキング	No Data	略史 ¹⁾	ニュージーランドの属領から1974年に内政自治権を獲得、ニュージーランドとの自由連合に移行。2008年以降、タランギ首相の長期政権。

1) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

2) <http://atlas.cdx.jp/index.htm>

基本データ： 栄養状態（微量栄養素欠乏含む）

栄養状況 ・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
女性の低体重	1%	<ul style="list-style-type: none"> 女性の低体重（低栄養）は問題となっていない模様。 	NLIS Country Profile/WHO
成長期の女子（15-19歳）の低体重	No Data		
13-15歳の過体重（過栄養） （2010年）	全体: 29.7% 女子: 19.5% 男子: 39.9%	<ul style="list-style-type: none"> 13-15歳の約3人に1人が過体重であり、女子よりも男子の割合が高い。 	GSHS（Global School-Based Health Survey）2010
肥満 ^{注2} （2011年） 15歳以上 25-65歳	61.0% 67.4%	<ul style="list-style-type: none"> 肥満は約5人のうち3人の割合。 	WHO Health Information and Intelligence Platform（HIIP）Country Profiles
女性の栄養過多 過体重（2016年） 肥満（2016年）	82.5 % 50.0%	<ul style="list-style-type: none"> 女性の大部分が栄養過多の状態で、特に肥満が2人のうち1人。 	NLIS Country Profile/WHO
女性の微量栄養素欠乏 亜鉛欠乏（19歳以上）	No Data		
貧血（1993-2005年） 鉄欠乏 葉酸欠乏 ビタミンA欠乏 ヨード欠乏（女性）	妊婦：32% 妊婦以外：12% ¹⁾ No Data No Data No Data No Data	<ul style="list-style-type: none"> 半分以上の妊婦が貧血である。 	FAO Food and Nutrition Security Profile

基本データ： 栄養・食物摂取行動

栄養状況 ■ 課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
低出生体重児（2000年）	0% ²⁾	• 2000年に2500g未満での出生児はいなかった。	FAO Food and Nutrition Security Profiles 1) FAO, 'Niue - Food and Nutrition Security Profiles', 2014 2) http://www.wpro.who.int/nutrition/documents/docs/niu.pdf?ua=1
5歳未満児の過体重（1987年）	14% ²⁾	• 最新のデータでは5歳未満児の20%が過体重であり、増加している。	
5歳未満児の低栄養 発育障害（慢性栄養不良） 消耗症（急性栄養不良）	No Data No Data		
5歳未満児の微量栄養素欠乏 ヨード欠乏（学齢期児童）	No Data		
貧血（5歳未満児）（1993-2005年） 貧血（学齢児童）（2001-2002年） 亜鉛欠乏	22% ¹⁾ 6.5% ²⁾ No Data	• 5歳未満児の約4人に1人は貧血である。	
ビタミンA欠乏（6カ月-6歳未満） （1995-2005年）	15.5% ¹⁾	• 20%以上だと公衆衛生上深刻な問題となる。	
生後6カ月の完全母乳育児率 生後4カ月の母乳育児率（1997年） 生後1年の母乳育児率（1997年） 生後2年の母乳育児率（1997年）	No Data 80% ²⁾ 33% ²⁾ 10% ²⁾	• 1997年の調査時点のデータではあるが、生後4カ月の完全母乳育児率は80%と高い。	
最低食事水準を満たすこどもの割合：	No Data		
鉄分豊富な食材を食べたこどもの割合：	No Data		
ビタミンA豊富な食材を食べたこどもの割合：	No Data		
ヨード添加塩（少しでもヨードを添加している塩）を使用している世帯の割合：	No Data		

基本データ： 食物消費・食料安全保障

食料安全保障状況・課題

指標	数値	解説	調査名/出典
世界飢餓指数 (Global Hanger Index : GHI)	No Data		
世界食料安全保障指数 (Global Food Security Index : GFSI)	No Data		
1人1日あたりの食事からのエネルギー摂取量	No Data		FAOSTAT
炭水化物以外からの摂取エネルギーの割合	No Data		
食事エネルギー供給量充足度	No Data		
たんぱく質摂取量中の動物性たんぱく源の割合	No Data		
喫煙率 15歳以上 男性 女性	17.7% 22.6% 13.0%	<ul style="list-style-type: none"> 非感染症による死亡は71% (2008年推定) となっており、過体重の割合の高さと合わせ、生活習慣病 (高脂血症、糖尿病、高血圧) のリスクが高いといえる。 	
高コレステロール血症 (コレステロール190mg/dl以上) 15歳以上 25-65歳	34.8% 32.9%		
高血糖 (空腹時血糖6.1mmol/l以上) 15歳以上 25-65歳	38.4% 41.4%		
高血圧 (収縮期血圧140mmHg以上かつ、または拡張期血圧90140mmHg以上)	33.5% 33.1%		

基本データ： 関連セクターの状況（教育、水衛生）等

栄養を取り巻く状況・課題

栄養指標	数値	解説	調査名/出典
安全な水へのアクセス (2017年)	98%	安全な水・衛生設備へのアクセス率は高く、野外排泄もほぼないと言える。したがって、これらは人口の栄養状態へのリスク要因にはなっていないと考えられる。	WHO/UNICEF (2019) (https://washData.org/)
安全な衛生設備（トイレ）へのアクセス（2017年）	97%		
野外排泄（2017年）	0%		
基本的な手洗い設備 ^{注3}	No Data		
学校におけるアクセス 安全な水 安全な衛生設備（トイレ） 基本的な手洗い設備	100%（小学校100%, 中学校100%） 100%（小学校100%, 中学校100%） 100%（小学校100%, 中学校100%）		世界こども白書 2019
小学校純就学率 小学校総就学率 (2011-2016年)	No Data 女子120%, 男子147%	ニウエは、3歳9ヵ月から16歳まで無料の義務教育制度である。 ニウエ教育局によると、2013年には男女とも100%の小学校就学率に達したとしている。 (UNICEF Situation Analysis of children)	世界こども白書 2017
中学校純就学率（2016年）	93.4% (女子No Data 男子84.0%)	2015年の72.82%から上昇している。	UNESCO Institute of Statistics
識字率 15-24歳（2011年） 15歳以上（2003年）	98% 100%	言語はニウエ語（ポリネシア語系）、英語が使用されている。 4年次まではニウエ語、その後は英語の方針がとられている。	2013 Pacific Regional MDGs Tracking Report

*安全な水=改善された水源（配管給水、深井戸、保護された浅井戸・湧水、雨水等）からの水で、敷地内で入手可能な場合（safely managed）と水汲みに要する時間が30分以内の場合（basic）を含む。

*安全な衛生設備=改善された衛生設備（排泄物を衛生的に処理し、人間に接触することを防ぐトイレ設備）が、他の世帯と共有せずに使用されている場合。
注3：自宅に石けんと水を備えた手洗い用の設備があること。

栄養セクターの主要な課題

栄養状況 ・ 課題

課題	解説	出典
非感染性疾患起因の死亡率	非感染性疾患起因の死亡率が高いことから、非感染性疾患への対応は、最重要項目の一つとして挙げられている。	UNICEF Situation Analysis of children
栄養に特化したデータの欠如	栄養については、非感染性疾患対策の一つとして位置づけられているものの、微量栄養素やエネルギー摂取量など、栄養に特化したデータが不在であり、実態がつかめない状況にある。	

その他の特徴

特徴	解説	出典
気候変動、自然災害によるリスク	2004年のサイクロンヘタはニウエの唯一の病院を破壊した。また、ニウエは雨水と地下水に依存しているため、サイクロンなどの災害により安全な水へのアクセスができなくなる。このため保健局は、気候変動関連の健康問題としてベクター媒介疾患、魚中毒、下痢性疾患、呼吸器疾患、食料安全保障の低下と極端な暑さで運動する機会が減少することによる結果としての非感染症、精神的健康への懸念、気温の上昇と降雨減少による皮膚の感染などを挙げている。	UNICEF Situation Analysis of children

既存の栄養関連データベース・情報源

栄養・食料安全保障状況 データベース

課題	解説	出典
NLIS Country Profile	<ul style="list-style-type: none"> 栄養状態を、主に子ども、女性、微量栄養素、食糧の安全保障などの指標を提示。ただし、ニウエについては情報が少ない。 	WHO
WHO STEPwise approach to Surveillance (STEPS)	<ul style="list-style-type: none"> WHOによる非感染性疾患とその危険因子の調査。ニウエでは2011年に実施されレポートがまとめられている。その後のアップデートは実施されていない。 	WHO
UNICEF/WHO/World Bank Group: Joint child malnutrition estimates	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの栄養状態について提示。ただし、ニウエについては情報が少ない。 	UNICEF/WHO/World Bank Group
Food and Nutrition Security Profiles	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの死亡率や子ども・女性の栄養状態（微量栄養素、低体重、完全母乳育児、食糧のアクセスや摂取状況、水と衛生環境などの指標）。 ただし、ニウエの情報はほとんどない。 	FAO
CENSUS Report 2016	<ul style="list-style-type: none"> 2011年に国勢調査を実施している。保健関連では、アルコール、たばこの摂取量、身体活動が調査されている。非感染性疾患として、糖尿病、痛風、高血圧、喘息の罹患者数が調査されている。（Niue Census of Population and Households 2011） 医師や看護師、助産師等の保健人材のデータも記載されている。 	統計局

国家栄養事業調整組織

マルチセクター栄養改善 実施体制

組織/委員会	位置づけ	概要・状況
No Data		

栄養関連国家レベル事業の概要と実施体制

主なマルチセクター栄養事業

主要事業	事業概要	実施体制
農業教育と農業普及 技術協力 2016年-2017年	<p>プロジェクトでは食料生産と生産性の向上、若者の農業への参加、能力向上を支援するため下記活動が実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の農業カリキュラムの見直し、ニュージーランドの農業および園芸科学達成基準に基づいたカリキュラムの開発 現在の農業学校の活動評価と適切な追加活動を提案するためのマルチセクター委員会の設立 家畜を含む学校菜園のアップグレード 青少年、学生、学校スタッフ、一般農家を対象とした伝統的な家庭菜園を維持するための技術を学ぶワークショップの実施 	FAO 農林水産省 教育省
フルーツとナッツの 木統合植林プロジェ クト 2016-2018年	<ul style="list-style-type: none"> 国内の果物とナッツの生産を増やし、食糧と栄養の安全性を高め、雇用を増やす手段として実施された。また、国内生産と生産性の低下、果物の輸入コストの増加、および農業から生じる低所得に対処することも目指していた。 具体的には、農家と協力して、果樹の選択、果樹園のレイアウト、防風林、用地準備、植栽、灌漑、施肥、果樹園の管理、収穫、マーケティング、包装などを実施。 栄養と食習慣において新鮮な果物とナッツの重要性について、学生と村のコミュニティの間で認識と知識を促進した。 	FAO 農林水産省
FAO Multi-country Programing Framework 2018-2022	<ul style="list-style-type: none"> FAOはニウエに対し、健康的な食事を維持するために国内の栄養価の高い食物生産支援をすすめている。 根拠に基づいた安全で健康的な食物の生産と消費の促進、強靱な農業・漁業・林業生産システム構築のため持続可能で気候に適応した実施の促進の2つを成果としている。 	FAO, SPC, WHO 農林水産省,保健 省,教育省
Pacific Multi-Country Programme of Cooperation 2018-2022	<ul style="list-style-type: none"> UNICEFはニウエに対し、保健と栄養分野では予防接種、新生児死亡原因の特定、栄養データの取得を支援すすとしている。水と衛生（WASH）分野では危機管理、気候変動、災害における備えと対応としている。 	UNICEF
United Nations Pacific Strategy 2018-2022	<ul style="list-style-type: none"> ニウエに対し、社会経済的側面、収入向上としての食料安全保障への対策支援、国際栄養基準を満たすための活動支援、NCDs対策等の健康に関する優先事項の実施を支援すすとしている。 	

主な事業：

栄養補助食品、微量栄養素、職場栄養改善、学校給食、病院給食、農業・フードバリューチェーン

栄養分野の主な民間連携事業・
ビジネスモデル

事業	事業概要/現況	実施体制